

平成 29 年 9 月 21 日

キャリアコンサルティング技能検定 2 級 学科・実技（論述・面接）試験 体験記
2 級受検番号 NO 氏 名 (M.S) 東京

■ 1 試験に向けた準備の状況

	学科	実技（論述・面接）
いつ頃から始めたか	3ヶ月前	2ヶ月
どのような内容を、どの程度行なったか	キャリアの青本の熟読及び e-learning 学習の実施	試験対策講座に参加。 論述：問題の解き方の理解・論述試験の意義を理解した上で、過去問題の演習・振り返りを行いました。 面接：ロールプレイングの実施
準備に対する振り返り	反省点としては学習期間が短く、カウンセリング理論等、覚えるべき用語をしっかりと習得する事が出来ませんでした。	過去問題は様々な方の意見を交換した上で、自分にはない考え方等を吸収できる様にしました。 ロールプレイングは客観的に振り返れる様、録音等して取り組みました。
*これから受検する人へのアドバイス	過去問題を解き、知識量を増やす事が大事だと思います。	論述と面接ではどのような視点で試験官が評価をするのか、試験の意義を理解する必要があると感じました。 特に口頭試問では、基本的態度・関係構築・問題把握・具体的展開に沿って、自分で面談内容を理解しながら客観的に答える事が大切だと思います。

■ 2 論述試験への取り組みです

*各問いの解答を作成する際に、意識したことを教えてください

論述試験対策のポイントを教えてください。

クライアントの発言の中に必ず CL の主張・問題点があるので、クライアントの発言・感情にマークをつけて、完結に内容をまとめる様に意識しました。

コンサルタントの考える問題点は自己理解・職業理解・長期的なキャリアプラン・コミュニケーションに当てはまるか、客観的に考えられる様に意識しました。

.....

■ 3 試験当日の状況（試験場での様子を思い出しながら、記述または選択して○をつけてください）

試験日： 2017 年 7 月 8 日 午前・午後

試験希望日をこの日に設定した理由は何ですか。

対策講座を受けてから、時間を空けずに試験に臨みたかった為。

事例番号： 1 2 3 4 5

■ 4 * 試験の状況：ロールプレイの流れや特徴（基本的態度・関係構築・問題把握・具体的展開）について記述してください。ほかに試験中に意識したこと、相談者の対応などを自由に。

うつむき加減でクライアントがスタートした為、意識してうなづきや笑顔を増やしクライアントに安心感を持ってもらえる様に、基本的態度を意識し、口頭試問でも回答しました。

前半はクライアントへの質問を多く行い、情報収集に努めました。

質問の中で本人の過去の話や、2回以上出てくるキーワードを重点的に傾聴し、コンサルタントとしての問題点を把握した後に、本人に問題点に気がついてもらえる様な投げかけや、同じ内容でも角度を変えた質問を投げかける様に意識しました。 以上